



みんなの回生

題字揮毫
元県知事・前川忠夫



- 大腸がん検診とお尻の悩みについて 2~3
- 第50回 院内看護研究発表会 4
- 平成30年度 香川MCLS研修会開催 5
- はじめまして 6~8

回生病院理念

皆さまに愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは質の高い医療を提供します
- 一、私たちは保健・医療・福祉と連携を図ります
- 一、私たちは予防医療の充実に努めます

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 一、患者さまには、個人情報を保護される権利があります
- 一、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 一、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

2019年
290号



社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院
坂出市室町三丁目5番28号
回生病院ホームページ <http://www.kaisei.or.jp/>

☎0877 (46) 1011 (代)
夜間の受付も行っています。

大腸がん検診とお尻の悩みについて

外科 部長 塩田 規帆 しおた みほ

○増える大腸がん

大腸がんの原因ははっきりしていません。食生活の欧米化、肥満、運動不足、便秘の人に多い…など諸説ありますが、厚生労働省の統計でも、日本人の大腸がん発症数は確実に増えていると言えるでしょう。

○大腸がん検診

日本では多くの自治体や企業の検診で、40歳以上の人は便潜血検査を受けることができます。便潜血検査は便の中に混じるヘモグロビン（赤血球）を検出する方法で、大腸がん発見の契機としての役割を担っています。というのも、下血（肛門からの出血）や便秘・腹痛などの症状が出るのは、大腸がんがある程度進行してからのことが多く、早期の大腸がんはほとんどの場合症状がありません。

実際のところ、便潜血検査を受けた人の中で、手術が必要な大腸がんが見つかるのは1000人に1~2人程度といわれています。また、稀ですが大腸がんがあっても、便潜血検査で陽性にならない人もいます。しかし、検査を受けなければ早期発見するきっかけになることもありません。

1年に1回、便の一部を出すだけで病気が発見できるかもしれない…、そう思えば“コスパがいい”検査かもしれません。



※正しい方法で検査を実施・提供しましょう。

○便潜血検査で陽性になったら？

もっとも推奨されるのは大腸内視鏡検査（大腸ファイバー）です。便潜血検査で陽性になる人がみんな大腸がん…というわけではもちろんなく、ポリープや痔、腸の炎症、などの病気のことが多いのです。大腸内視鏡検査は、病気の診断はもとより、小さな良性のポリープや早期がんなどを内視鏡で切除することもできます。

便潜血検査で陽性の結果がお手元に届いたら、大腸内視鏡を行っている病院に受診して、検査の詳細や手順、合併症などのお話を確認して大腸内視鏡検査を受けることをお勧めします。



○相談しにくいお尻の悩み

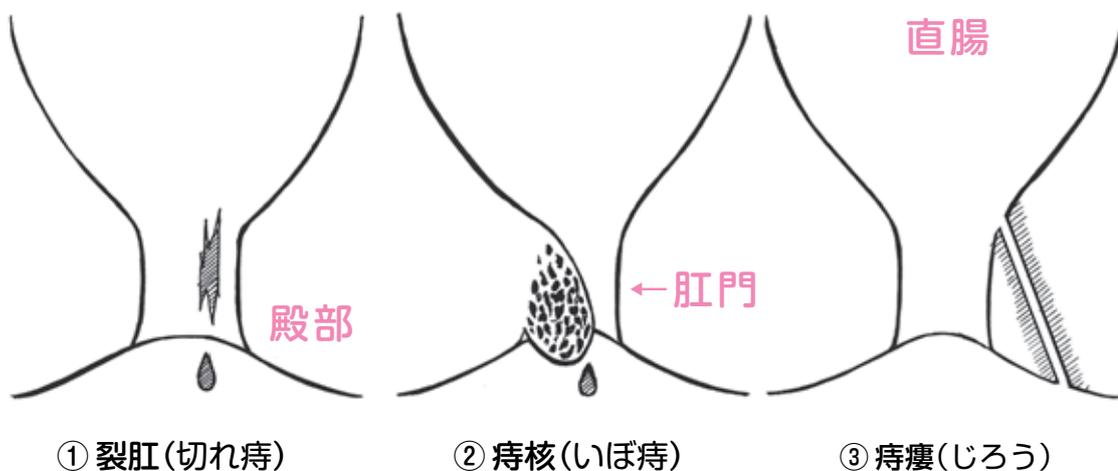
痔（“ぢ”）は人間以外の動物にはみられない病気だそうです。また、人間であれば古今東西、貴賤老若の別なく身近な病気のように、ナポレオンから乃木大将、夏目漱石まで痔で悩んでいた記録が残っています。かといって気軽に誰にでも話せる悩みでもないようです。

痔は大きく分けて3つ①裂肛（切れ痔）②痔核（いぼ痔）③痔瘻（じろう）に分かれます。

①**裂肛（切れ痔）**は、硬い便、力みすぎなどで肛門の粘膜が切れ、出血と痛みを生じるものです。

②**痔核（いぼ痔）**は肛門の血管の一部が膨らんで、出血や肛門からの脱出を生じます。出来る場所によって痛みは無いことも多いです。

③**痔瘻（じろう）**は肛門（もしくは直腸）の粘膜と皮膚がトンネルを作り、痛みや熱、膿を出したりする病気です。



痔になる原因は複雑で、特定できないことが多いです。しかし、予防として

- ① 極端に便秘や下痢にならないように排便状況に気を付ける
- ② 長時間トイレに座って力まない
- ③ 下半身を冷やさず清潔を保つ
- ④ 座りっぱなし、立ちっぱなしにならないように適度に運動をする

などの方法が推奨されます。お尻でお悩みの方、特に男性の医師にみせるのはちょっと恥ずかしい…という女性の方も気軽に外科外来にご相談ください。



第50回 院内看護研究発表会

看護部 看護研究委員会委員長 森 まゆみ

私たち看護師は、患者さまの体と心の両面をサポートし、よりよい療養環境が作れるよう努力をしています。日々の看護業務を実践する中で、疑問点を改善し、看護の質向上を目指すため、業務の合間に看護研究に取り組んでいます。

その看護研究の発表の場として、平成31年2月、院内看護研究発表会を開催しました。また、今回の発表会は第50回の節目を迎えることが出来ました。病院スタッフに加え、地域の医療関係者の方々や看護学生など、約200名の方にご参加いただき、看護研究14題、うち口演2題の発表を行いました。限られた時間ではありましたが、参加者からのご意見やご質問は、新たな気づきとなり、さらなる看護の質向上の指針になると感じました。

また、第50回の記念講演として、初めて院外から講師の方をお招きしました。公益社団法人香川県断酒会 副理事長 福家啓之様より、「断酒会とは」と題し、アルコール依存症についての講演がありました。当院は、身体合併の精神疾患の患者さまも治療を受けています。講師の方からアルコール依存の経験を赤裸々に語っていただき、当院で働く看護師にとっては、患者さまの気持ちを知ることができた貴重な時間となりました。

今回、第50回を節目として、次年度からは更に質の高い看護研究を目指し、日々努力を重ねていきたいと考えています。



講師：公益社団法人香川県断酒会 副理事長 福家啓之様

平成30年度 香川MCLS研修会開催

災害管理室

2月16日(土)17日(日)、香川県の委託事業として、香川MCLS(Mass Casualty Life Support)研修会を回生病院が主催しました。当院では第3回目より事業を引き受け、本研修会で3回目のコース運営となりました。

研修会の開催には県内外のインストラクターの協力が必要で、今回のコースにおいても総勢29名の方に指導を担当していただきました。この研修会は、多数傷病者事案や災害対応をする消防・警察・医療関係者などが一堂に会し、現場で実施すべき医療や活動について相互理解を深め、災害対応能力の向上を図ることを目的に実施しています。

この研修会には、インストラクターコースと標準コースの2つのコースがあります。今回のインストラクターコースには、将来のインストラクターを目指す15名の方々が受講されました。

また、標準コースには、県内消防・警察・医療機関から36名の方々に受講していただきました。標準コースにおいては、多数傷病者に対する対応方法、災害現場医療活動の原則、DMATとの連携、トリアージ等の講義に加え、机上シュミレーションやトリアージの実技実践を研修していただきました。

受講者からは、「今後発生するかもしれない災害に対して、準備と知識を深めることができた。」、「今後は地元に戻り各病院・消防・警察職員と連携を図っていきたい。」などのご意見をいただきました。



はじめまして



産婦人科
長谷部 宏

産婦人科の長谷部です。私の出身は徳島県で、徳島大学卒業です。

大学に7年いた後、徳島県立三好病院に異動して2年間勤務しました。そのあと四国4県をぐるっと回り、香川県丸亀市に住んで19年になります。19年の間に、善通寺病院で6年、徳島県立三好病院で13年勤務しました。三好病院まで約40km、1時間かかり、通勤に疲れてきてしんどいなあとと思うようになったときに、4月から回生病院にお世話になることになりました。

電子カルテが今までと全然違うので、毎日戸惑いながらも、スタッフの皆さんに助けをもらって仕事をしています。微力ではありますが、回生病院の一員として頑張りますので、よろしくお願いたします。



外科部長
原田 昌明

4月から回生病院で勤務させて頂くことになりました外科の原田です。平成15年に岡山大学を卒業し、主に岡山大学関連の病院で外

科医として勤務してまいりました。外科の中でも胃や腸を扱う消化器外科の経験が豊富ではありますが、乳癌、肺癌、下肢静脈瘤、甲状腺等いろいろな疾患の診断・手術・抗がん剤治療をしてきましたので、今までの経験を生かして少しでも地域の皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。

出身は、ここ坂出で、その御縁もありましてこちらで勤務させて頂くことになりました。なるべく患者さん・ご家族の希望や生活環境を考慮した医療を提供したいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



消化器センター係長
香川 雄亮

4月より回生病院に赴任しました、香川雄亮と申します。生まれも育ちも香川県で、香川大学医学部を卒業し、高松の屋島総合病院で勤務しておりました。内科を担当しますが、特に消化器を専門としており、外来のほか、胃カメラ・大腸カメラなどをさせて頂きます。体調で気になるところがある方は、いつでもご相談受けたいと思います。地域のみなさまの健康に少しでもお役に立てるよう頑張らせて参りますのでどうぞよろしくお願申し上げます。



救急科
山田 隼人

4月から回生病院に勤務させて頂いていただくことになりました山田隼人と申します。

出身は香川県高松市で、2017年に香川大学を卒業し、その後大学病院で1年間、香川労災病院、回生病院、小豆島中央病院で研修させて頂いていただきました。この春で医師3年目となり、専門は救急科を中心に日々研修しております。以前、回生病院での研修において、色々な経験をさせて頂き、専門研修もさせて頂くことと思ひ応募しました。

早く新しい環境に慣れ、回生病院の一員として患者様に最善の医療が提供できるように尽力致しますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。



看護師
住田 朋恵

4月より回生病院で勤務させて頂いていただくことになりました、看護師の住田朋恵と申します。

学生時代、実習では自身の知識不足と未熟さから思うような看護が行えず心が折れそうになることもありました。そんな中、患者様に「あなたは絶対にいい看護師さんになれる

から頑張ってるね」とおっしゃっていただいた言葉が支えとなりました。看護師になった今、今度は私が患者様とご家族様に寄り添い、不安と苦痛を緩和できるように誠心誠意努め看護していきたいと思えます。

少しでも患者様のお力になれるように笑顔と感謝の心を忘れず、日々精進して参ります。どうぞよろしくお願いたします。



看護師

竹田 詩菜

本年度四月から回生病院で働くことになりました、看護師の竹田詩菜と申します。

私は、実習で術後の患者様を受け持たせて頂いたことがあります。術直後は意識レベルの低下が見られ、酸素マスク、膀胱留置カテーテル、前腕からの点滴静脈注射など、様々な管に繋がれた患者様をみて大変ショックを受けたことを覚えています。しかし、何日も関わっていくうち、どんどん回復されて身体機能の低下なく退院されていく姿を見送ることが出来ました。その実習で患者様が持つ生命力や回復力に感動し、急性期の看護に携わりたいという思いが生まれました。

病棟で様々な知識や技術を学び、患者様の個別性に合った看護を提供出来る看護師になれるよう努力していきたいと思えます。よろしくお願いたします。



看護師

藤井 美紀

今年の4月から回生病院で勤務させていただくことになりました、看護師の藤井美紀と申します。

私の父が入院した時、戸惑う父や私たち家族に優しく声をかけてくれたのが看護師でした。父や私たち家族の不安を取り除き、父に笑顔を取り戻してくれた看護師にとっても感謝を受け、私も患者様に元氣や癒しを与えられる看護師になりたいと思うようになりました。

まだまだ未熟ではありますが、回生病院の理念である「皆様に愛され信頼される病院」の一員として、多くの知識や技術を身につけ、患者様に寄り添い、信頼される看護師になれるように、日々一生懸命努力していきたいと思えます。皆様、どうぞよろしくお願いたします。



臨床工学士

柏原 知里

今年の4月から回生病院で勤務させていただくことになりました、臨床工学士の柏原知里と申します。

臨床工学士は生命維持管理装置の操作及び保守点検を業務として行いますが、医療機

器の高度化が年々進んでおり、医療機器をより安全に使用するには多くの知識と技術が必要不可欠です。また、患者さんに質の高い医療を提供するためには他職種との連携も大切になります。そのため、実際の現場で日々知識と技術を吸収し、患者さんや他職種とのコミュニケーションを大事にしていきたいと思えます。

未熟で至らないところも多々ありますが、1日でも早く回生病院の一員になれるよう努力していきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いたします。



臨床検査技師

林 裕子

この4月から回生病院で勤務させていただくことになりました、臨床検査技師の林裕子と申します。

私が臨床検査技師を目指したきっかけは、祖母の入退院です。この経験から早期発見・早期治療というものの重要性を実感いたしました。元々、医療職に就きたいと考えており、疾患の早期発見に貢献できることに魅力を感じ、臨床検査技師になりたいと思うようになりました。また、地域医療支援病院でもあるこの回生病院で、このたび、働くことができ大変嬉しく思っております。

まだまだ未熟で至らない点も多いと思えますが、回生病院の一員になれるように多くの知識や技術を吸収して、日々努力していきたいと思っております。



作業療法士
難波 良介

おります。皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

この4月から回生病院で勤務させて頂いた
くことになりました。作業療法士の難波良介と
申します。

一度工学系の大学に進みましたが、昔から母
親が病気がちであり、母だけでなく家族である
自分たちに対しても支援を行ってくださった作
業療法士の先生の姿を見て大学を中退し作業
療法士を目指しました。

昨年度回生病院で実習させて頂いたとき、患者
様の気持ちを大切にし、日々研鑽に努めていく
ことの大切さを学ぶことができました。患者様
やお世話になった先生方に少しでも恩返しをす
ることができるよう認定作業療法士等の資
格取得を目指し努力していきたいと思ひます。

まだまだ未熟で至らない点もありご迷惑を
おかけすると思ひますが回生病院の一員とし
て貢献していけるよう一生懸命頑張りますの
で、皆様どうぞよろしくお願ひ致します。



社会福祉士
増井 葵

今年の4月から回生病院で勤務させて頂く
ことになりました。社会福祉士の増井葵と申し

ます。幼少期より、医療・福祉の分野で働きたい
と考えており、患者さんに寄り添い、患者さん
の望む生活を送れるよう支援を行う社会福祉
士の道を選びました。

地域医療支援病院である回生病院で、地域の
方々が安心して暮らしていけるよう、社会福祉
士として院内・院外の機関や職種と連携を取
り、患者さんがよりよい生活を送ることが出来
るように、しっかりと患者さんの話を聞いて、寄
り添える社会福祉士になれるよう日々努力し
ます。

至らぬ点も多々あるとは思ひますが、早く
チーム医療の一員になれるよう精一杯頑張らせ
て頂きますので、よろしくお願ひ致します。



事務
塩田 美月

この度、事務職員としてメディアカルコンサル
シユに配属となりました。塩田美月と申します。

患者さん一人一人に寄り添い、「職員が気が付
かない患者さんの“不”を解決」できるよう、
皆様に愛され信頼される職員になりたいと思っ
ております。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



事務
山路 笑里

4月から回生病院で働かせて頂くことにな
りました。医療事務員の山路笑里と申します。
医療事務員として常に笑顔で、明るく患者様
と接し、皆様に愛され信頼される職員を目指し
ます。

まだまだ至らない点も多々ありますが、多く
の知識を吸収し日々努力して参ります。
よろしくお願ひ致します。

平成三十一年 入社式

